

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

龍郷町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県大島郡龍郷町

### 3 地域再生計画の区域

鹿児島県大島郡龍郷町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町は奄美大島北部に位置し、町の中央部分を空港と奄美市名瀬の市街地を結ぶ幹線道路「国道 58 号」が横断する形で伸びている。これまで、本茶トンネルの開通等、奄美大島北部の交通網整備によって、中心市街地である奄美市名瀬からのアクセスが改善され、さらに公営住宅や民間賃貸住宅等の住環境整備が進められたことによって、人口減少が著しい奄美大島の中で、昭和 50 年頃から人口 6,000 人ほどを維持してきた。しかし、近年本町の人口は減少しており、平成 22 年に 6,078 人であった人口は、平成 27 年には 5,806 人となっている。住民基本台帳に基づくと令和 4 年時点では、5,959 人となっており、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口予測では、2060 年に 3,951 人になると推計されている。

年齢 3 区分別人口の推移をみると、昭和 50 年から令和 2 年にかけて、年少人口は 1,784 人から 918 人、生産年齢人口は 3,495 人から 2,993 人と減少する一方、老年人口は 941 人から 1,906 人と増加で推移しており、少子高齢化が進行している。

自然動態についてみると、平成 10 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いており、令和 3 年には 47 人の自然減となっている。

社会動態についてみると、令和 3 年には転入者（383 人）が転出者（327 人）を上回る社会増（56 人）であったが、これは奄美市名瀬からのアクセスの改善や住宅環境の整備等の一時的な要因であり、今後は社会減になると考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティや文化継承の衰退など、といった影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、以下の基本目標を掲げ、町民の結婚・出産・子育ての希望の実現を図り、人口増加につなげるとともに、移住施策の促進と安定した雇用の創出を図ることで、人口減少の歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標1 稼ぐ人材と企業を育て、安定した雇用を創出する
- ・基本目標2 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える
- ・基本目標3 ひとが集う、安心して暮らすことが出来る魅力的な地域をつくる
- ・基本目標4 誰もが活躍できる社会の実現、人材の確保・育成

### 【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (令和4時点)	目標値 (令和6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市町村内総生産	17,182 百万円	17,849 百万円	基本目標1
ア	就業人口	2,517 人	2,600 人	基本目標1
ア	事業所数	343 事業所	350 事業所	基本目標1
ア	ワーキングホリデー、職業体験参加者数	0 人	10 人	基本目標1
ア	遊休町有地（施設）活用案件数	1 件	1 件	基本目標1
ア	新卒ルーキー一時金支給人数	0 人	1 人	基本目標1
イ	出生数	55 人	56 人	基本目標2
イ	ファミサポ利用件数	264 件	300 件	基本目標2
イ	婚姻届出数	18 件	30 件	基本目標2
イ	子育て世代包括支援センター相談件数	62 件	100 件	基本目標2
ウ	移住ガイドセンターへの問い合わせ、相談件数	162 件	200 件	基本目標3
ウ	空家バンクの掲載物件数	15 件	20 件	基本目標3
ウ	空家バンク物件成約数	12 件	15 件	基本目標3
ウ	高齢化率（町総人口に対する65歳以上人口の割合）	33.69%	35%	基本目標3
ウ	来島再訪（リピーター）率『観光満足度調査』	52.8%	60.0%	基本目標3
ウ	奄美大島への入込客数『奄美群島の概況』	556,716 人	600,000 人	基本目標3
ウ	町内の年間のべ宿泊者数	データなし	85,680 人	基本目標3
エ	多様な働き方を推進する企業、事業所数	0 件	2 件	基本目標4
エ	子ども博物学士講座のべ参加者数	289 人	500 人	基本目標4

	加人数			
エ	子ども博物学士講座受講生へのアンケート調査 「満足」, 「まあまあ良かった」が回答の70%以上	99%	99%	基本目標4
エ	龍進未来塾のべ参加人数	273人	300人	基本目標4
エ	小中学生の自己肯定感のチェック『全国学力学習状況調査』 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	55%	70%	基本目標4
エ	障がい者就労数	67人	80人	基本目標4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

龍郷町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 稼ぐ人材と企業を育て、安定した雇用を創出する事業

イ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える事業

ウ ひとが集う、安心して暮らすことが出来る魅力的な地域をつくる事業

エ 誰もが活躍できる社会の実現、人材の確保・育成事業

#### ② 事業の内容

ア 稼ぐ人材と企業を育て、安定した雇用を創出する事業

地域の魅力ある資源を活かした経済の活性化を図るため、人財や企業を育成し、町内の就業者数を維持するほか、IoT、AI、ビッグデータを活用したスマート農業の導入をはじめ、各種産業の生産性向上や技術革新の支援に取り組む。

#### 【具体的な事業】

・テレワーク、ワーケーションの推進事業

・コワーキングスペース、サテライトオフィス、シェアオフィスの整備事業 等

#### イ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える事業

少子化の要因としては、未婚率の増加や第1子出産年齢の上昇、結婚・出産・子育てに対する経済的負担、仕事との両立の難しさ等が考えられるため、出会いの機会創出や、結婚を支援する体制を充実し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備を進める。

##### 【具体的な事業】

- ・出産祝い金制度の創設
- ・中学生までの医療費無料化 等

#### ウ ひとが集う、安心して暮らすことが出来る魅力的な地域をつくる事業

「空家対策協議会」及び「移住ガイドセンター」の設置並びに地域おこし協力隊による空家バンクの充実に向けた取組みを行うとともに、地域の資源であり魅力でもある自然環境や伝統文化の保全と活用を両立させ、暮らしている人々が「いつまでも住み続けたい」と思える、町民主体の集落づくりを支援する。

##### 【具体的な事業】

- ・空家バンクの充実
- ・移住や観光促進を狙った動画の制作とSNSを駆使した発信 等

#### エ 誰もが活躍できる社会の実現、人材の確保・育成事業

多様性のある社会への関心や理解を促進させるとともに、国内外を問わず様々な人々と交流しながら、協力して豊かな地域社会を作り出すための体制づくりと人材育成に取り組む。

##### 【具体的な事業】

- ・子ども博物学士講座の実施
- ・龍進未来塾の実施 等

※ なお、詳細は第2期龍郷町創生総合戦略のとおり。

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標(KPI)）

4の【数値目標】に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

15,000千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者（たつごうみらい会議）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定するとともに、これを事業執行等に反映させる。また、検証後速やかに本町ホームページや広報誌、新聞等で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで